

## 第8回 積雪寒冷地における道路舗装の長寿命化と

### 予防保全に関する検討委員会

#### 議事概要

#### ■ 第8回検討会：令和6年3月26日（火）

##### 【議 題】

- ・今年度に試験施工を実施した技術の状況報告について
- ・新たな舗装技術のとりまとめに関する検討案について

##### 【議事概要】

- 事務局及び技術開発者より今年度に試験施工を実施した技術の状況報告を行い、質疑応答を行った。また、新たな舗装技術のとりまとめに関する検討案について説明し、質疑応答を行った。議事内容は以下の通りである。

##### ◇今年度に試験施工を実施した技術の状況報告について

- ・ 常温合材については、再生合材としてリサイクルが可能な材料なのか、その上から表層を施工して問題ないのか、表層を施工する場合は撤去すべきなのかなど、それぞれの材料の特性を確認する必要がある。
- ・ 常温合材の試験については、客観的な評価方法として、室内試験についても検討する必要がある。
- ・ 常温合材については、長期保存が可能な材料や作業効率など、どのような材料を求めているかアンケートを取って検証することが重要である。
- ・ 高規格道路でもポットホールが問題となっているため、長寿命となる新たな材料については、現場実証した結果を長期的に観測することが重要である。
- ・ AIを活用した舗装点検・診断については、学習を続けることで精度も上がってくるので、引き続き、調査を続けていくことが重要である。

◇新たな舗装技術のとりまとめに関する検討案について

- 応募された技術の開発者にどのような室内試験により耐久性が高いという根拠となっているのかを検証し、統一的な試験により評価する必要がある。
- とりまとめ方法については、グラフとカタログの整合が取れるような様式に見直す必要がある。

以上